PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター
2025 年 7 月 18 日

北上川で学ぶ防災の最前線

～JICA 研修員が災害に強い国づくりのヒントを探る～

JICA 関西では 7 月 8 日～8 月 7 日まで、「持続性と強靭性確保のための防災」と題した研修プログラムを実施しています。開発途上国には、洪水、土砂災害、地震など日本と共通する様々な自然災害のリスクを抱える国が多くあり、これらの自然災害によって人的・経済的損害が生じています。JICA は、長年にわたって取り組んできた日本の事前防災投資の知見・経験を活かし、途上国の防災・復興を後押ししています。

この研修では、12 か国 14 名の防災担当行政官が参加し、防災・減災推進のための防災計画の策定手法を学びます。

7 月 22 日は、東北地方最大といわれる北上川の治水事業の現場を視察します。北上川の歴史、地形的な特徴、災害履歴などを確認し、遊水地の仕組みや役割について理解を深めることで、自国の防災対策・技術の推進に役立てることが期待されています。

また、一関第一高等学校との交流も予定しており、高校生と各国の治水対策や洪水対策に関する意見交換を行います。

以下の日程で取材・インタビューが可能です。是非ご検討ください。

取材可能日程:2025 年 7 月 22 日(火)

時間	内容	場所
10:00-11:00 11:10-12:00	講義「北上川の治水事業と地域の発展」 岩手県立一関第一高校生徒との交流	北上川学習交流館あいぽーと 一関市狐禅寺字石ノ瀬 155-81
13:00-13:50	北上川学習交流館あいぽーと見学	同上
14:00-14:30	大林水門見学	一関市中里字下大林

※本プログラムは、国土交通省岩手河川国道事務所の協力を得て実施します。

研修対象国:12 か国

ガーナ、ケニア、マラウイ、ルワンダ、シエラレオネ、ソマリア、スーダン、インド、モロッコ、スリランカ、タイ、トルコ （ケニアからは 3 名、その他は各国 1 名が参加）

※当日は日本語⇔英語の通訳 2 名が同行します。

-ご取材いただける場合は以下まで事前にご連絡ください-

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西　研修業務課　有江　由貴(ありえ　ゆき)
TEL: 080-7144-8455(直通)　E-mail: Arie.Yuki2@jica.go.jp